

令和2年度病害虫発生予察情報 注意報第2号

令和2年4月9日
岩手県病害虫防除所

りんごの生育が進んでおり、黒星病の早期感染が懸念されます。防除の適期を逃さぬよう、今後の気象に注意しましょう。

- 1 対象作物、病害虫 : りんご、黒星病
- 2 対象地域 : 県下全域
- 3 発生時期（感染時期） : 早
- 4 発生量 : 多
- 5 予報の根拠

- (1) 前年発生量は平年より多く、本年の伝染源密度は前年発生地域で高いと考えられる(図1、2)。
- (2) 近年、本病の感染に好適な気象条件が開花期より極端に早く(開花1週間前頃)出現しており、開花日に合わせたE B I剤の散布では防除適期を逃す年が続いている。
- (3) りんご展葉期は平年より約9日早く、早期感染が起りやすい(農業研究センターのふじ・わい化樹の展葉日は4月7日(平年は4月16日))。

6 防除対策

- (1) 重点防除時期である開花直前にE B I剤を散布する。

ア 散布日は、開花日に合わせるのではなく、最初の感染好適日(降雨日)*に合わせる。感染好適日から散布時期が遅れるほど、防除効果は不安定になりやすい。

* 最初の感染好適日(降雨日)は、最低気温が10℃前後で降雨が2日間にまたがる(葉の濡れが20時間以上継続)場合に出現することが多い。

イ 散布量は十分確保する。

- (2) 次のような場合は、開花7~10日前にもE B I剤を特別散布する。

ア 最初の感染好適日が開花日より7~10日程度早く出現する場合。

イ 降雨日に合わせた防除が難しい場合。

ウ 前年に黒星病が発生した地域。

※令和元年度病害虫防除技術情報「りんご黒星病の発生要因と開花直前防除の留意点」を参照。

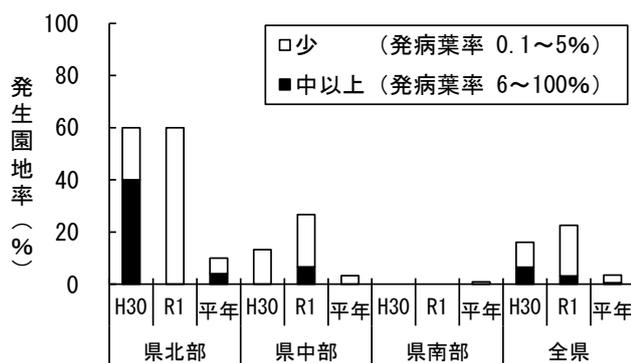


図1 黒星病の地域別発生園地率(年間評価)



図2 葉の病斑(病斑は徐々に隆起する)

【利用上の注意】

- ・本資料に掲載した農薬は、令和2年3月31日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。
- ・農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・農薬使用の際には、(1)使用基準の遵守(2)飛散防止(3)防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆病害虫防除に関する情報は、いわてアグリベンチャーネット

<https://i-agri.net/Index/gate003> からご覧いただけます。